

インフルエンザ(2025 年第 43 週)疫学情報

《コメント》

2025 年第 43 週の定点当たり報告数は 6.29(患者報告数 24,276)となり、前週の定点当たり報告数 3.26 よりも増加した。都道府県別では沖縄県(19.40)、神奈川県(11.88)、千葉県(11.82)、埼玉県(11.73)、東京都(10.37)、北海道(8.43)、宮城県(8.35)、和歌山県(7.20)、愛媛県(6.59)、福島県(6.33)、岩手県(6.31)、大分県(6.07)、兵庫県(5.85)、大阪府(5.68)、茨城県(5.43)、静岡県(5.25)の順となった。全国 47 都道府県中、44 都道府県では前週の報告数よりも増加し、3 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 235 例であり、前週(139 例)から増加した。38 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(12 例)、1～4 歳(40 例)、5～9 歳(58 例)、10 代(23 例)、20 代(5 例)、30 代(8 例)、50 代(11 例)、60 代(12 例)、70 代(22 例)、80 歳以上(44 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 39 週～2025 年第 43 週)では、AH3 亜型が 34 件(72%)、AH1pdm09 が 11 件(23%)、B 型が 2 件(4%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト([https://idw-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html](https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html))を参照されたい。